

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ	臨床専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Photodynamic therapy for the treatment of extramammary Paget's disease	
	論文の日本語タイトル	光線力学療法による乳房外パジェット病の治療	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ5-6	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	12072068	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	146	
	号	6	
	ページ	1000-5	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2002 Jun	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Shieh, S.	Department of Dermatology, Roswell Park Cancer Institute
その他著者 1		Dee, A. S.	
その他著者 2		Cheney, R. T.	
その他著者 3		Frawley, N. P.	
その他著者 4		Zeitouni, N. C.	
その他著者 5		Oseroff, A. R.	
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			

	その他著者 10		
--	----------	--	--

一次研究の 8 項目	目的	乳房外パジェット病における PDT の有用性を調べる	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究	
	セッティング	Department of Dermatology, Roswell Park Cancer Institute	
	対象者	5 人の男性乳房外パジェット病患者 16 病巣、うち 11 病巣は外科治療後の再発病巣	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 2 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 15 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （5）	
	介入（要因曝露）	ALA 外用 PDT	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	腫瘍の退縮	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	主な結果	16 病巣中 8 病巣に 6 カ月後の時点で腫瘍の完全退縮(CR)を認めたが、うち 3 病巣は 9-10 カ月後に再発した。効果が不十分な 1 例ではフォトフィリンの全身投与による PDT を施行し CR が得られた。	
	結論	乳房外パジェット病の治療に PDT が有用である	
	備考		
	レビューワー氏名	八田尚人	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 複数例の乳房外パジェット病の治療に PDT を施行した数少ない報告。有効率が 50%、再発率が 38%。再発率が高いが、繰り返し治療することで局所のコントロールを行っている。有用性の根拠として手術療法後の再発率 31-61%と比較しているが、本邦の報告と比べ極めて高いので信頼性に欠ける。	